

# 旧吉田茂邸再建に向けて

## (財)吉田茂国際基金から

# 2億7,658万円の寄附

平成21年3月22日に焼失した本町の旧吉田茂邸の再建に向け、今年3月に解散した(財)吉田茂国際基金から2億7,658万839円及び故吉田茂元首相に関する貴重な調度品などの寄附をいただきました。

### (財)吉田茂国際基金への感謝状贈呈式

(財)吉田茂国際基金からの残余財産の寄附を受け、町では、7月5日(火)に感謝状贈呈式を行いました。

当日は、(財)吉田茂国際基金の和田専務理事をはじめ、国會議員、県議會議員などに出席をいただき、寄附をいただいた



▲(財)吉田茂国際基金の和田専務理事(右)へ感謝状を渡す中崎町長(左)

直筆書簡や中華民国初代總統の蒋介石が吉田茂元首相に贈った書などの披露、感謝状の贈呈などが行われました。

### (財)吉田茂国際基金とは

同財団法人は、吉田茂元首相の功績を記念して、教育・学術・文化活動の助成や内政、外交の調査研究などの事業を続けてきました。また、基金設立当初から再建への全面的な協力を約束していただき、今回は、財団の解散を機会に、残った財産を本町へ寄附していただきました。

### 旧吉田茂邸再建に向けて

旧吉田茂邸は、戦後日本の復興に大きな功績を残された故吉田茂元首相の本宅であり、総理在任中はもとより、政界引退後も多くの政財界人が訪れるなど、重要な役割を果たしてきた戦後政治史の舞台です。

町では、平成21年7月、旧吉田茂邸の復元を目指す基金を設立し、募金活動を開始してきました。今年6月末現在の募金総



▲蒋介石が吉田茂元首相に贈った書

額は計約5千万円が集まっています。

今後、町としては、今回の寄附で、約2億円を旧吉田茂邸の再建費用に充てるための資金として活用し、残りの額については、再建後の旧吉田邸の維持管理費及び国際基金が蒐集してきた内政、外交資料に関する資料の保存活用などに充てるための資金として活用していきたいと考えています。

◎問い合わせ 政策課

☎内線206

## 町長が走る!!



▲ごみの減量が急務の環境美化センターごみ処理施設

私が昨年12月15日に初登庁してから、7か月が過ぎました。大磯町を中から見て、再確認したことは、物事を決めるには現場を知らなければならぬということです。

町には、本庁舎以外に、国府支所や子育て支援総合センター、環境美化センターなどの出先機関があります。

全ての施設へ実際に行き、施設における課題は何かを職員と話している中で、ほぼ定期的に行くべきと感じる施設があり、そのひとつが環境美化センターです。

環境美化センターは、町から出される廃棄物を処理している施設で、町の一般会計の約8パーセントにあたる7億円を毎年使っています。

限られた財源の中、毎年、予算を編成するうえで様々な工夫をし、町民サービスの提供の充実に努めていますが、財源が不足しているのが実情です。

この財源不足を少しでも解消することが出来る施設が環境美化センターなのです。ごみの減量について皆さんと一緒に考え、実践することで必ず財源を生み出せますので、ぜひご協力いただけますようお願いいたします。

毎週、環境美化センターに行き、ごみ問題について職員と真剣に話しています。また、ごみを扱う施設だからこそ綺麗にしておかなければならないので、風通しの良い、明るい施設に変えていきたいと考えています。

◎問い合わせ

大磯町長 中崎 久雄  
政策課 ☎内線206